

◇ 行事報告 ◇

3月19日（土）摩利支天月例祭

岡山県もまん延防止法が解除されましたが、感染者の減少が少ないことを鑑みて、今回は本堂にて読誦会と摩利支天月例祭を執行しました。

本堂では、次のようなお話がありました。

3月は、彼岸月です。彼岸は昼と夜の時間が同じになります。昔の人は、昼は此の世、夜はあの世のものと考えました。昼と夜が同じということは、あの世のご先祖様とも繋がり易くなりますので、この時期にお経を差し上げることはとても良いということで、春季の彼岸法要を営むお寺もあります。

但し、魔もやって来やすいので、甘いお供え物を供え、悪さをしないようにしたようです。おはぎやぼた餅が代表ですね。ちなみにこの二つは同じものです。春は牡丹の季節でぼた餅、秋は萩の季節でおはぎです。また、あんこの種類が異なるという説もあります。小豆を収穫して直ぐの秋は豆ごと煮ても柔らかいので、豆の形のまま粒



あんにししました。冬を越すと豆の皮もかたくなりますので、漉してこしあんにしたそうです。

是非この時期は特に思いが通じやすいとされていますので、ご先祖様や有縁無縁の霊位に布施をし、功德を積んで下さい。きっと感謝して下さる事と思います。

◇ グランドゴルフ開催 ◇

4月14日（木）岡山県宗務所主催によるグランドゴルフが開催されました。コロナを配慮し、今回は午前の部と午後の部に分かれての開催でした。順位発表は後日各寺院にお知らせとなり、表彰式は割愛されました。



◇ 行事案内 ◇

摩利支天月例祭

5月18日（水）、6月18日（土）午前10時より執行いたします。

多くの摩利支天様がお座り頂いた御宝前にて各家の家内安全、身体健全を祈願し、お加持を受けます。皆様のご参加をお待ちしております。

なお、お供えは、摩利支天様一体千円以上、お賽銭百円以上を申し受けます。

◇ 近況 ◇

本年は、境内の花々が例年より遅いと思っていたら、数日の間に咲きほこり、あっという間に散ってしまいました。今は、牡丹の蕾が膨らんでもうすぐかわいい顔を見せてくれる事でしょう。

この花たちのように笑顔で周りの人を和ませる事（和顔施・布施の一つ）ができるよう日々過ごし、穏やかな気持ちで過ごしていきたいですね。

合 掌

